

2020年6月10日

関係各位

2019年1月～12月の国内イベント消費規模推計発表

イベント市場規模は17兆4,890億円（前年比100.8%）。

イベント来場者の消費金額は8年連続の伸長。

日本イベント産業振興協会(JACE)ではさまざまなカテゴリーのイベントに実際に足を運ぶ生活者の消費額を2012年より定期的に調査しています。今回の「2019年イベント消費規模推計報告書」においてもイベントに対する様々な支出(出発前、交通費、宿泊費、会場内、会場外、イベント後)を含めたイベントの全体消費規模金額は17兆4,890億円(前年比100.8%)と8年連続で上回りました。カテゴリー別としては、消費規模の大きい順に、興行イベント6兆1,156億円、フェスティバル2兆7,060億円、スポーツイベント2兆4,339億円、文化イベント2兆3,845億円、会議イベント2兆2,329億円、見本市・展示会1兆0,672億円、販促イベント5,358億円、博覧会131億円の順となっています。

昨年よりも大幅に増えたカテゴリーは、スポーツイベントの前年比149.1%であり、今回の調査対象者が回答しているイベント名でもラグビーワールドカップ2019などの2019年度の特徴的なイベントばかりでなく、市民マラソンなどの自己参加型やプロスポーツチームのファン感謝デーなどエンターテインメント性の強いスポーツイベントが増えてきています。

また、「イベント会場内の消費規模金額」に関しても3兆3,623億円(前年比110.7%)と伸長しました。これはイベントの会場で十分にイベントを楽しもうとする生活者の行動の表れと見てとれます。第6回を迎えた「JACEイベントアワード(後援:経済産業省)」のエントリー作品にも、企業が社会課題解決にチャレンジするイベントやe-SPORTSなどイベントの新たな潮流、地域のインフラを活用し地域振興を目指すイベントなど更に拡がりが見えてきています。

当協会では、Withコロナ/Afterコロナ時代のイベントを再認識・再定義をするとともに、イベントならではの「人が集まる」という臨場感、同時性というという特長、その結果「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を提供する手法という原点を捉え直して、今後も活動を行います。

今後も、当協会ではより実態に即した意義あるデータを収集しつつ、年次データを蓄積していきます。本調査報告書を、イベント市場の推移を探る一助として役立ていただければ幸いです。

本調査報告書「2019年度イベント消費規模推計報告書」は6月10日より協会ホームページ<http://www.jace.or.jp/>より購入できるようになりますので、ご活用いただければ幸いです。

【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本イベント産業振興協会

TEL:03-3238-7821 FAX:03-3238-7834 E-mail:pr@jace.or.jp